

南琉球八重山波照間方言の記述研究

麻生 玲子

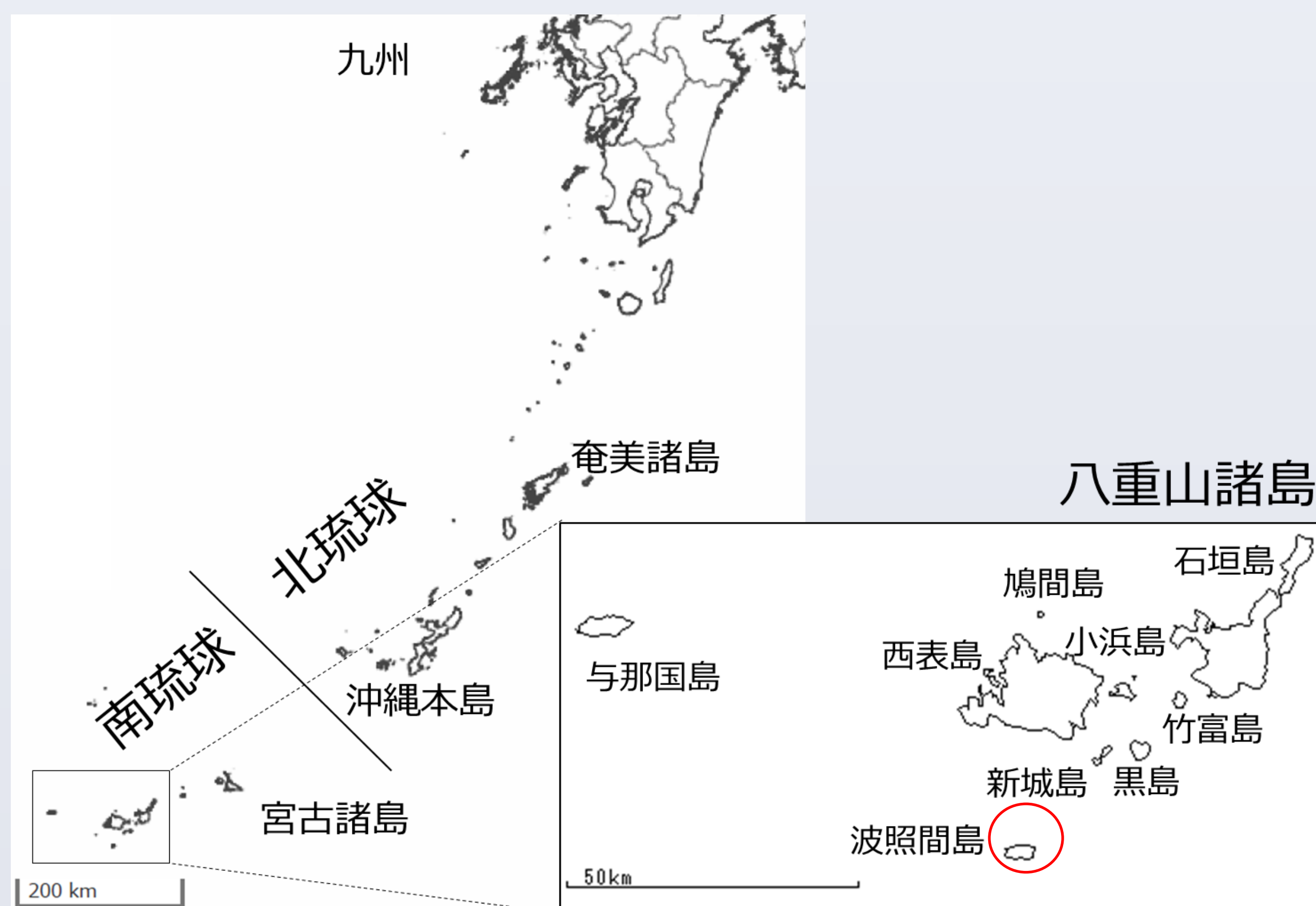
言語変異研究領域 特任助教

南琉球八重山語波照間方言

- 日本の消滅危機言語のひとつ。
- 沖縄県八重山郡竹富町波照間で話されています。
- 話者数：200人
- 話者の年齢：75歳以上

波照間島ってどんなところ？

- 日本最南端の有人島
- 人口：約500人
- 面積：12.73km²
- 東京からの主な行き方：石垣空港（東京から3時間半）～離島ターミナル（バスで30分）～高速船（1時間強）



高速船に1時間揺られないとたどり着かない島。波が高いと欠航するので、運もないとたどり着けません。



波照間島の主要な産業は、サトウキビ栽培・製糖と観光業です。



船からクルクルと気持ちよさそうに回る風力発電機が見えるとそろそろ到着です。



サトウキビから作られる黒糖は、「粉」と「粒」があります。



一度波照間島の海を見てしまったら、どこの海に行っても満足できなくなってしまう？！



島には5つ集落があります。赤瓦の屋根とサンゴの石の石垣が特徴的です。

どんなことばなの？



ピコハン！ウタマヌドゥンジ
まるで呪文のようなことば。意味は「危ない！子どもの飛び出し」

- 日本語と琉球語は、もともと同じことばでした。しかし、長い時間をかけて、人が移動し、定住することにより、どんどん変化していきました。
- 現在、東京方言の話者が、波照間方言を聞いても全く分かりません。反対に、波照間方言話者は、もちろん東京方言を理解しています。波照間方言話者はバイリンガルなのです。
- パナ「花」、サキ「酒」、トゥリ「鳥」、ナン「波」など、東京方言となんとなく似ているものもあれば、左の写真の看板のように、すぐにはわからないものもあります。
- パナ「花」、サキ「酒」、トゥリ「鳥」には、語頭にとても強い息が出ます。私は、同じ日本にこんな言語があるのかと驚きました。

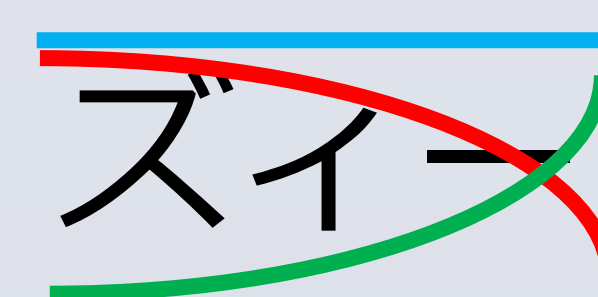
どんな研究をしているの？

- 波照間方言は、日本の危機方言のひとつです。若い世代に波照間方言が引き継がれていないので、このままでは波照間方言が一体どんな言語だったのか知るすべがなくなってしまうです。
- 私は実際に波照間島に足を運び、調査を行う「フィールド調査」を行っています。
- 単語や日常的な会話を聞き取り「どんな音があるか？」「動詞の活用はどんなものがあるか？」などを分析し、文法書を作っています。



どんなことが分かったの？

- アクセント
- 波照間方言は、3つの音調で単語を区別しています。3つの音調とは「下がる」「上がる」「下がりも上がりもしない」の3つです。
- 例えば「ズィー」という音を例にとると…



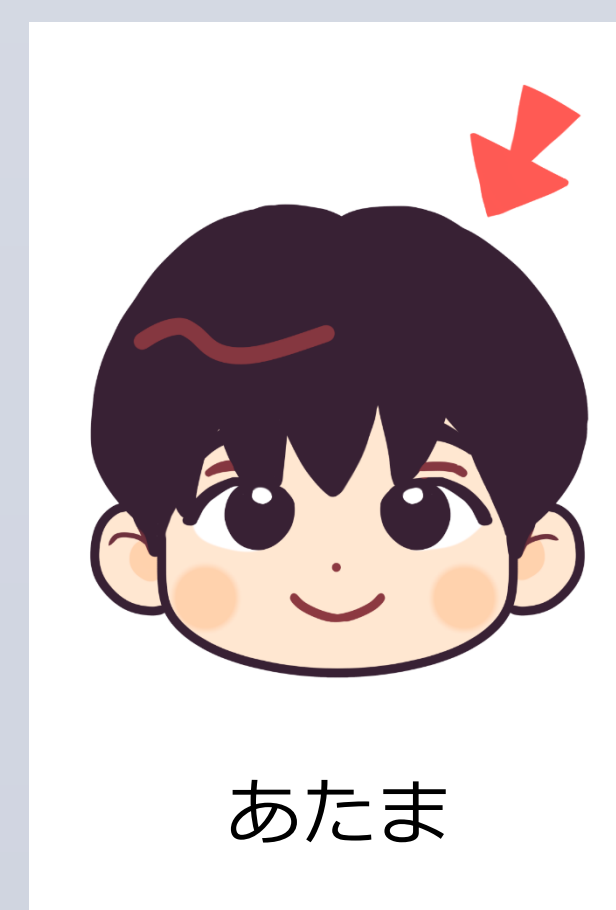
- 赤色の線（下がる）「血」
- 緑色の線（上がる）「土」
- 青色の線（たいら）「乳」

- 動詞の活用形（文を終わらせることができる動詞形式）

動詞の形	意味
ユムン	読む
ユムタン	読んだ
ユモー	読む
ユムタロー	読んだ
ユミ	読め
ユマ	読もう
ユムナ	読むな

- 「ユムン」や「ユムタン」など「(タ)ン」で終わる形式は、話し手が自ら行う／行った動作か、（誰かの動作を）自ら見た場合にのみ使えます。

これからどんなことを行うの？



イラスト調査票例

- ① 波照間方言を含め、日本全国には消滅の危機に瀕した危機方言が多くあります。研究者だけでは全国の方言の調査を行いきれないので、今後は地域住民の方と一緒にデータの収集を行えたらいいなと思っています。今年度は、奄美大島の宇検村の小中学生とチャレンジします。どうやったら子どもたちが楽しくできるか実際に参加者の意見を取り入れながら手法を考えます。例えば、自分たちで切り取るイラストカードや、HPが作れるツールを用意しました。
- ② 波照間島が属する八重山地域の数多くの方言が、どのように分かれて今の姿になったか研究します。今年度はその準備の年です。これまで八重山地域で調べられてきた方言の辞書をデジタル化してパソコンで扱えるようにします。